

「国語総合」学習指導案

指導者 和歌山県立有田中央高等学校
教諭 上野山智美

- 1.日時 平成25年2月8日(金)第3限目 2.場所 1年4組教室 3.学年 1年4組(16名)
- 4.生徒観 全体的に明るく元気で、活発なクラスであるが、思いついたままを発言する生徒や、落ち着きがなく集中力に欠ける生徒もいる。
- 5.単元 「他者と出会う」・・・随筆『黄色い花束』黒柳徹子
- 6.単元目標 筆者が戦乱のコソボに生きる子どもたちをどう見ているのかを読み解き、また、生徒にとっては遠い「他者」を自己にかかわる存在として読みとらせる。
- 7.本時の目標 コソボの子どもたちと筆者の子ども頃のの違いに気づかせ、子どもをねらう兵器の残虐さを理解する。
- 8.本時の創意工夫(5観点について①～⑤)
 - ① 本時の活動と、学習のテーマを板書する。
 - ② ワークシート、黒板を使い、わかりやすくまとめる。銀紙・千代紙など実物を見せる。
 - ③ 班別になり、考えさせ、意見をまとめる。
 - ④ 調べたことを発表させる。
 - ⑤ 服装及び準備物の確認をする。

9.本時の展開

	学習内容	学習活動(生徒の活動)	・指導の留意点*支援(教師の活動)	学習形態	創意工夫①～⑤
導入	・本日の学習内容	・本時の活動と学習のテーマを理解する。	・学習の流れを板書する。	一斉	① ⑤
	・前時の復習	・ワークシートで確認していく	・前時の女の子の発言を確認し、理解につなげる。 ・本時のワークシートを配布する。		②
展開	・第二段落を読む。	・範読を聞きながら読む。	・本文を範読する。	一斉	
	ワークシートの空欄A Bに適切な語句を入れてみよう。				
	・前時に調べたことを発表する。	・ワークシートに書き込む。 ・指名されて答える	・答えたものを板書し、共有させ理解させる。 ・補足しながら理解させる。 ・実物を見せ、もののなかった時代を理解させる。	個人 一斉	② ④ ②
	・本文を読む。	・「戦争中の生活」について発表する。 ・銀紙・千代紙を見る。 ・範読を聞きながら読む。	・本文を範読する。		
	C Fに適切な語句を入れてみよう。				
	・前時に調べたことを発表する。	ワークシートに書き込む ・答える ・「電波妨害」について発表する。	・答えたものを板書し、共有させ理解させる。 ・補足しながら理解させる。	個人 一斉	② ④
子どもをねらったものだったら、とっくに死んでいたと思うのはなぜですか。					
		・考える・指名されて答える。			
コソボの子どもたちと当時(戦争中)の筆者との共通点と相違点は何ですか。					
		・班別になり考える。 ・考えをまとめ発表する	・発表したものを補足しながらまとめる。	4人	③
まとめ	・本時の振り返り	・本時の学習内容を復習する。	・本時の学習内容を板書を用いて説明し、確認させる。	一斉	②

指導案を書くにあたって

1. 日時
2. 場所 授業を行う場所
3. クラスと人数
4. 生徒観
5. 単元
6. 単元目標の目標
7. 本時の目標
8. 創意工夫（5 観点）
 - ① 授業開始時に学習への見とおしを持たせる工夫
 - ② 分かりやすい言葉（説明・発問）と視覚的な表示への工夫
 - ③ 生徒同士の活発な学び合いや場面の転換など、多様な学習活動への工夫
 - ④ 授業における専門性を高める工夫
 - ⑤ 学習環境（規律とけじめある）への工夫

} 1 行程度で簡潔に書く

9. 展開

- ・ **学習内容（教師の活動）**：教師が指導する内容
- ・ **学習活動（生徒の活動）**：生徒が学習する内容
- ・ **学習形態**：学習する人数
- ・ **創意工夫①～⑤**について

① 本日の学習内容を、板書・パワーポイントを掲示する。

② 発問内容・・・**発問**、**説明**・・・できるだけ簡潔で短い言葉、身近なものに例える

主発問・・・授業における山場となる一番大切にしたい発問

- ・ 視覚的な表示・・・実物、動画・・・実物や DVD 等を実際に見せる
模式図、グラフ・・・色を活用し表示する
チョーク色・・・覚える色、説明色等を固定する。
(蛍光チョーク・・・色覚、近視等への配慮)

③ 学習形態

- ・ 個人 一人ひとりが主体となる学習
- ・ ペア（2 人） 学習内容を確認したり、教え合いをしたりする学習
- ・ 4 人グループ 役割（司会者・記録者・発表者）を決めコミュニケーション能力を向上させるとともに、多様な意見を交換または課題解決をする学習
- ・ 一斉学習 教師が主体となって学習させる

④ 学習場面と学習活動

- ・ 話し合い学習 生徒同士の意見交換から新たな視点を引き出す
- ・ 作業学習 手や体を動かすことで学びとらせる
- ・ 練習学習・反復学習 繰り返すことで身につけさせる
- ・ 家庭学習 自主的な学習習慣をつけさせる

⑤ 学習環境

- ・ 授業始めと終わりは必ず起立と礼
- ・ 生徒の学習活動が止まってから説明する
- ・ 机の上には、必要なものを置かせ、ペットボトル、カバン、携帯は置かないように徹底させる。
- ・ 周りの空気をよむ。
- ・ 説明のときは、必ず教師の顔を見るために、顔を上げさせる。

* **支援**：生徒が指導内容を理解できない場合等に対する支援

(机間巡視、個別指導、個別対応プリント、具体物説明、再度説明、)